

閉会挨拶

全国エリアマネジメントネットワーク 監査役 青山 公三氏

午後から3時間10分に渡って白熱した議論を展開していただきました。最初に小林先生が、これからのまちづくりは育てるまちづくり、あるいはデベロップメントではなくてマネジメントが重要だとお話しがありました。

その後、保井先生から3つのキーワード、「交わる、深める、広げる」、順番はあえて変えていますが、その3つのキーワードに従い、北から南まで16の事例を様々な形でご報告いただきました。

大都市だけではなく地方の中小都市での議論なども含めて、エリアマネジメントの広がり大きな盛り上がり、そして全国エリアマネジメントネットワークを作った意義を感じた次第です。

国としても国土交通省が都市再生特別措置法の改正をやってまいりました。それから内閣府あるいは内閣官房では、今まさに日本型の BID の取り組みについて検討が始まっており、国土交通省だけではなく、総務省、財務省、経済産業省など各省横断で検討をしています。

おそらく7月の中旬以降にその中間報告が発表される予定ですが、その中には、日本の新しい BID 設立の方向性に向けてという議論が含まれています。ぜひそのような盛り up を全国エリアマネジメントネットワークとしても大切にしていきたいと思っています。

ただ、一つだけ、この会場でも女性の数が少ないです。まちづくりは男性だけで作るわけではなく、女性の感性は非常に重要です。登米市のプロジェクトのように女性の発想力を活かすためにも、ぜひ次の会場では女性の観点でもまちづくりをみんなで考えるという場にしていただければありがたいなと思っています。

簡単にではありますが、さらなる交わり、深まり、広がりを祈念いたしまして、私の挨拶に替えたいと思います。